

林陽寺報

さくら

ホームページ

林陽寺

検索

岐阜市岩田西 3-402 林陽寺 058-243-1380

ぎふ七福神 第15回布袋尊大祭 令和7年11月23日午後2時



皆さんこんにちは。林陽寺の境内に鎮座されて十余年、布袋尊はいつもニコニコと私達を見守っていたでいています。

常に、笑顔を絶やすことなく、大きな袋を担いで、うろたえることなく平常心を保てよと励ましているでいています。

家運隆盛・福德円満

家庭円満・商売繁盛

子孫繁栄・無病息災

などのご利益があると云われ、中国の寺院では、どこも山門に祀られています。布袋尊の名で七福神の一つとなった布袋和尚は、唐代末期の中国に実在した契此（かいし）というお坊さんです、かれは死後に弥勒菩薩の生まれ変わりだと考えられて、神格化されました。しかし布袋和尚の実像は、ほとんど明らかではありません。出世を目指すのを好まず、一生、大きな袋を担いで放浪生活を送ったと伝えられています。お参りください。

第五九回教誨師中央研修会より

「懲役・禁錮」が変わり

「拘禁刑」が創設されます

八月の終わり、法務省にて標記の「研修会」がありました。

皆様方に取って「刑法（けいほう）」とは、縁の無い方が多くビックリされると思います。

「刑」を受けるとは、刑務所に入って「懲役」と「禁錮」。つまり、高い塀の中に「閉じ込められ（拘置）」、「所定の作業」を行う。明治四十年に刑法が制定されて



以来、悪いことをした人は「閉じ込めて、懲らしめる」という方針のもとに、今日に至りましたが、令和六年六月一一八年振りに刑法が改正され、

「懲らしめ」から「更生」重視へと方針が転換され、令和七年六月より、新たな刑として「拘禁刑（こうきんけい）」が創設されました。

「懲らしめ」から「更生へ」と大きな方針変換となりました。「拘禁刑」では、個々の受刑者の特性に応じた作業や指導を柔軟に組み合わせ、動機付けを強化しながら、改善更生や再犯防止を目指す処遇が行われます。

具体的には、

- 一・受刑者の必要性に応じた作業の実施（作業の実施が前提ではなく、改善更生等の必要性に応じて実施を検討する。）
- 二・作業と指導を柔軟かつ適切に組み合わせた処遇（作業や指導等の実施時期や割合、組合せ等を重視し、個々の特性に応じたきめ細かな矯正処遇等を展開する。）
- 三・作業を含む受刑生活への動機付けの強化（一方的に矯正処遇等を課すのではなく、受刑者自身にその重要性を十分位理解させ、効果的に改善更生等を図る。）とあります。

入所時における「処遇調査の充実」、心理専門官、福祉専門等を含めた多くの職員が関与し、複層的な視点での調査検討を行う。その結果、「二四過程」からなる、特性に応じた矯正処遇を効果的、効率的に実施する。そのための細かな過程を設け、特性を理解した上で、必要な者に必要な処遇を実施し、入所後の早い段階から支援ニーズを把握し、住居・就業先・福祉サービスの確保など釈放後社会生活を見据えた支援を実施し、出所へと導く。

もちろん、受刑者自身が処遇の必要性を理解し、自主的・意欲的に取りくめるよう動機付けのための働きかけを強化する。

以上のような趣旨のもと「刑法」が大きく変わり、「教誨師」としての私も、単に「供養」や「坐禅」ばかりでなく、「更生改善プログラム」の中での役割の為の研修を積まなければならない。

元法務大臣河井克行氏の『獄中日誌』「塀の中に落ちた法務大臣一一六〇日」（2024/06/30 飛鳥新社）の中の一節、『受刑者は「自分は誰からも相手にされない、価値のない存在だ」と考えてしま



う。そうではなく、「自分は社会から必要とされている人間なんだから再起しなければならぬ。ここにいて間にしつかりと自分の過去に向き合い、反省

して罪を償い、社会で通用する資格・学力・職業能力を身につけるんだ」と考えを改めさせる仕組み―受刑者の心を動かすプログラムと受刑者が必要とする多種多様な情報を提供する体制―を整える必要があると考える。』

とあった。正に「拘禁刑」へと切り替わる時の考えの一助と考えられる一文ではないだろうか。

当日、会場で「公益財団法人日本宗教連盟」理事長様より、多年の宗教教誨活動の功労により感謝状を頂きました。

真夏の床に花を生ける 央仁(創蒼軒)

八月七日の山門大施食会の折、朝鮮横を「令正(れいしょう) 五体」に生けさせていただきました。

頂となる枝「正花(しょうか)」を敢えて中程で欠き、本来その主枝を裏側から補い厚みを持たせる「相令(そうれい)」を前に出しました。重心を下げ、上部を



涼やかにする生け方です。斜め前方へは力強く、下方は優しく引き締めました。日本生花司松月堂古流では、枝葉のみで構成する瓶には草花から花を借りてきます。黄小菊を借り花としました。

真夏は人間だけでなく植物にとっても過酷です。切り花の日持ちも悪く華道家泣かせの季節。そんな時頼りになるのがこのマキ。林陽寺墓地に植わっています。

令和八年正月 行事について

◎大晦日 除夜の鐘 新春祈禱

十一時四十五分頃より除夜の鐘終わって 年が明けるとともに

新春祈禱

終わって

希望ある

方にお加

持をいた

します。

◎一月一日

元旦

ご先祖様にお詣ください。

◎一月二日から ご祈禱参り

あらかじめお手紙にてお知らせいたします。

させていただきます。

どうぞよろしくお願いします。



ぎふ七福神 第15回 布袋尊大祭

11月23日（祝日）午後2時より

ご祈祷・のぼり旗 例年通りお願いします。

ぎふ七福神新春夢めぐり 正月3日より7日まで

ぎふ七福神では福神様のご開帳をしております。

皆さま新しい門出に、ぎふ七福神をめぐり、新たな幸せをつかんでみてはいかがでしょうか。

年の初め、ゆっくりのんびり、福を集めにお参りしてみませんか。御朱印を集めて満願成就。

1月21日 山門新春大般若祈祷会 午後1時より

檀信徒の皆様の1年間の家門繁栄・商売繁盛・合格祈願等諸願成就を大勢のお坊様達とともに大般若経でもって祈祷いたします。

厄除けのご祈祷行います。
厄年の方は、申込みください。



曹洞宗岐阜県宗務所 テレホン法話 **0575-46-7881**

お話しは半月毎に変わります。